

# きらめき

坂城町女性団体連絡会だより

発行 坂城町女性団体連絡会  
編集 女団連だより編集委員会



「一年を振り返って」



会長 内山 高子

会長として、様々な会議に参加させて頂きましたが、初めてのことばかりで戸惑う一年となりました。「女と男ふれあいさかき」はコロナ禍ということで、見送りという残念な結果に終わりました。8月に「女性と男性のワーク・ライフ・バランス」を、11月に「長野県男女共同参画推進県民大会」を共にオンラインで参加し便利さを感じつつも、実際にお会いしてお話を聞きたいと思いました。

また、地域公共交通システム部会では、高齢者の方々が利用できる送迎システムを考えていることにお聞きし、自動車が運転できなくなった人々にとって、気軽に使えるシステムになるとよいなと感じました。コロナ禍で制限も多い世の中になってしまいました。が、町内で様々なイベントを賑やかに開催できるよう日々が一日も早く来る事を心から願っております。

## 活動報告

『女性と男性のワーク・ライフ・バランス』オンライン研修に参加して」

副会長 中沢 一美

男女がともに働き、その能力を社会的に発揮することは人間としての基本的な権利であり、それを保障することは社会の責務でもあります。

このズームミーティングでは仕事と家庭生活や地域活動を含む社会生活を営むためには、男女が家事・育児・介護等を対等に分かち合う関係づくりと、個人のライフステージやニーズに応じた多様な働き方や暮らし方ができるように、ワーク・ライフ・バランスが必要なのだと思いがつきがありました。DV、ジェンダーへの差別等々考えるべきポイントは沢山ありますが、テレビの中の出来事と、私たちは引がかかることなく通り抜けてしまうのです。アンテナを張り公正な目で見られるようになるため習慣化しないといけないと感じています。

日常生活を送るにあたり、自分に関わる問題でなければさほど気にならないのは仕方ないことではあります。ジェンダー平等社会の実現を目指すために必要なことではないでしょうか。

また、現実的な問題として男性たちの家事・育児参加が進まないという事実もあります。性別にかかわらず利用できる育児支援制度はある程度整備されていますが、私たちの刷り込まれた常識という概念が邪魔をしているのではないかと考えるきっかけになりました。固定概念を持つ人に突きつけるとこちら側が面倒くさい人になってしまうこともあるので、そこを配慮しつつ知ってもらおう事が大切だと感じました。偏見を持ちにくい子どもの頃から分かりやすい言葉で情報を刷り込んでいくのも一つの方法ではないでしょうか。



▲オンライン研修の様子

## 団体の紹介

交通安全協会坂城支部

女性部 柳沢 稚津余

私達、千曲交通安全協会坂城支部は、交通ルールを守り、正しい交通マナーの実践を進め、交通事故

## 令和3年度坂城町女性団体連絡会

- 会長 内山 高子
- 副会長 前沢 栄子
- 中沢 一美
- 坂城町婦人会
- 農村女性ネットワークさかき
- 女性専門相談員
- 保健指導員会
- 消費者の会
- 交通安全協会坂城支部女性部
- 商工会女性部
- 更生保護女性会
- 婦人消防隊
- 日赤奉仕団
- 農村生活マイスター

のない安全で、快適な社会の実現を目指した啓発活動を行っています。主に春夏秋冬の全国交通安全運動の際に、町のあちこちに指導員が立つ姿はご存じの方も多いかと思えます。他にもシートベルト着用普及活動から町中の白線の引き直しやカーブミラー清掃、イベントの際の交通整理、飲酒運転撲滅の啓発活動など様々な活動があります。中でも女性部の活動としましては、幼稚園や保育園の交通安全教室のお手伝いや一般の方や高齢者の方々への普及啓発活動、その際に使用する「おフクロウマスコット作り」等があります。このコロナ禍の中では、協会の活動も縮小して行われていますが、来年度はより多くの活動が実現することを願っております。